

ドライバーから**選ばれる会社**になるために！

物流業界の2024年問題に備える

9つの社内施策



目次

「物流業界の2024年問題」とは、働き方改革関連法により、2024年の4月からトラックドライバーの時間外労働時間の上限が年間960時間に制限されることによる諸問題のことです。

ドライバーの労働時間が減少することから、会社としての売上減少や、給与減少によるドライバーの離職増加などが懸念されています。

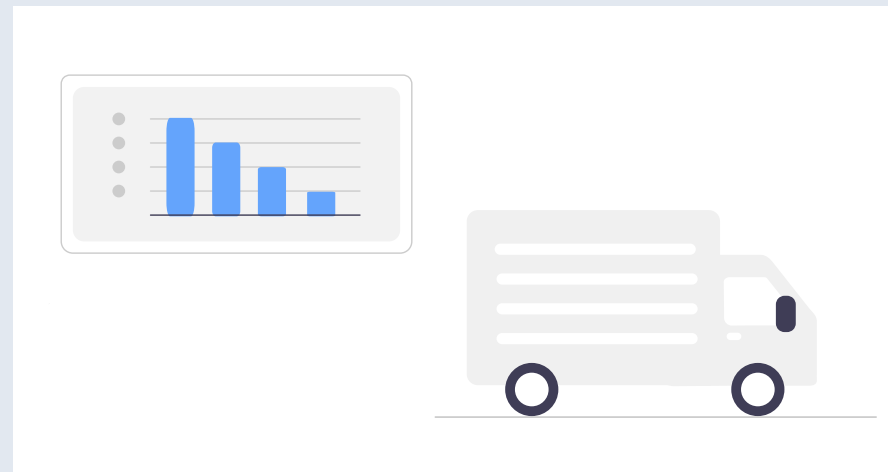
法施行が迫る中、社内の取り組みを見直そうとしている企業様も多いのではないのでしょうか。

本資料では、2024年問題への3つのアプローチ方法や、具体的な9つの社内施策を紹介します。

法施行で懸念される悪影響	3
悪影響を避けるために必要なこと	4
3つのアプローチで2024問題に対応	5
2024年問題に対応するための9つの施策	6
ドライバーも含めたDX・業務効率化	7
安全に関する指導・教育の効率化	8
従業員の頑張りを評価・称賛する仕組み	9
取り組み事例 2 選	10
物流・運送業界の業務DXや組織改善なら「TUNAG」	11

法施行で懸念される悪影響

トラックドライバーの労働時間が売上に直結する企業には、次のような連鎖的な悪影響が生じる可能性があります。



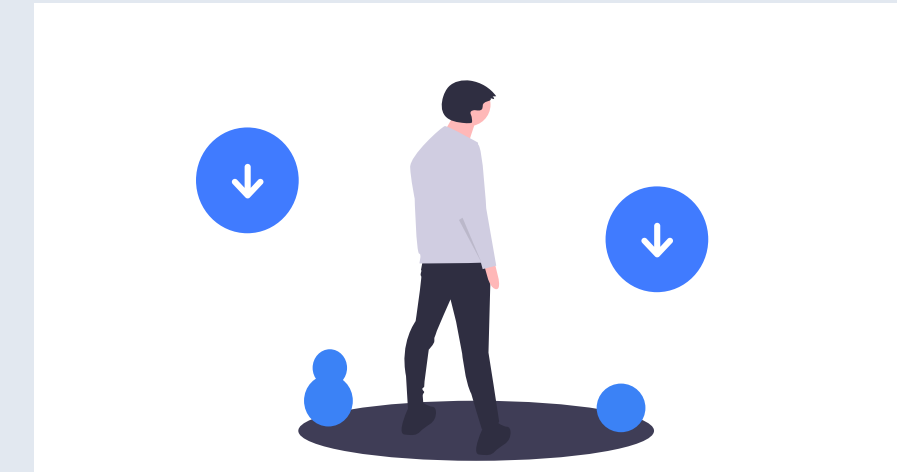
収益の減少

ドライバーの労働時間が減少し、「長距離輸送ができなくなる」「運べるモノの量が減る」などが発生することで、会社としての収益が減少する恐れがあります。



ドライバーの給与減少

給与体系として一部歩合給を導入している企業では、ドライバーの時間外労働の手当が減少することで、給与が減少する可能性があります。



生産性低下・離職増加

業績悪化や給与減少は、従業員のモチベーションや生産性を低下させるかもしれません。それに伴い、離職する従業員が増える可能性もあります。

悪影響を避けるために必要なこと

2024年問題の悪影響を避けるためには、次の3つの対応が必要です。



3つのアプローチで2024年問題に対応

従業員のモチベーションを高め、高いパフォーマンスを発揮してもらうには、下記3つのアプローチが重要です。

ドライバーも含めた DX・業務効率化

DXといえばPCを使う本社スタッフを思い浮かべがちですが、2024年問題に対応するならドライバー業務の効率化がポイントです。

タイムリーな情報共有や、各種申請のDX化を実施しましょう。

安全に関する 指導・教育の効率化

業務効率化を進めるからこそ、今まで以上に事故防止への取り組みにも注力していく必要があります。

安全に関する教育・指導の方法を効率化させて、全員にすばやく周知しましょう。

従業員の頑張りを 称賛・評価する仕組み

「無事故が当たり前、何かあれば減点評価」になりがちな運送業だからこそ、頑張りを称賛し、評価することが重要。

従業員が前向きに業務に取り組めるようになり、高いパフォーマンスが発揮できます。

2024年問題に対応するための
9つの社内施策



ドライバーも含めたDX・業務効率化



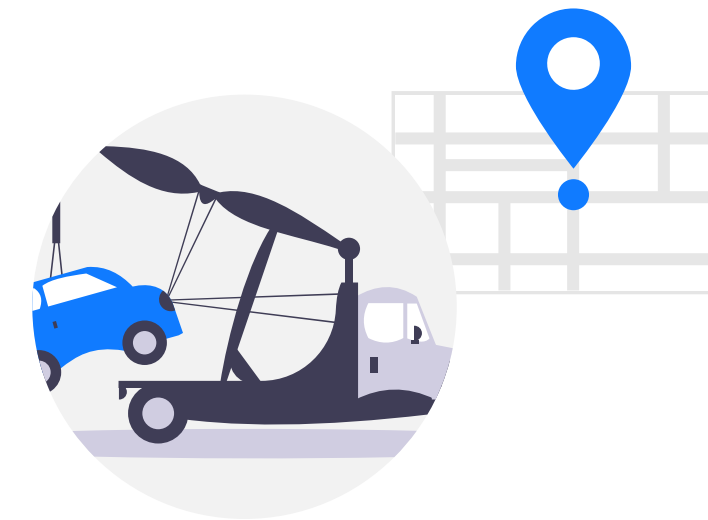
1. 会社からのお知らせ

会社から全従業員に向けてのお知らせを、ウェブ掲示板やスマホアプリで行います。タイムリーな情報共有ができるように、仕組みを整えることがポイントです。



2. 各種申請

紙で行なってきた各種申請を、オンラインで行えるようにします。ペーパーレス化で、ドライバーを含めた従業員が、より業務に集中できる環境を作ります。



3. 事故発生速報

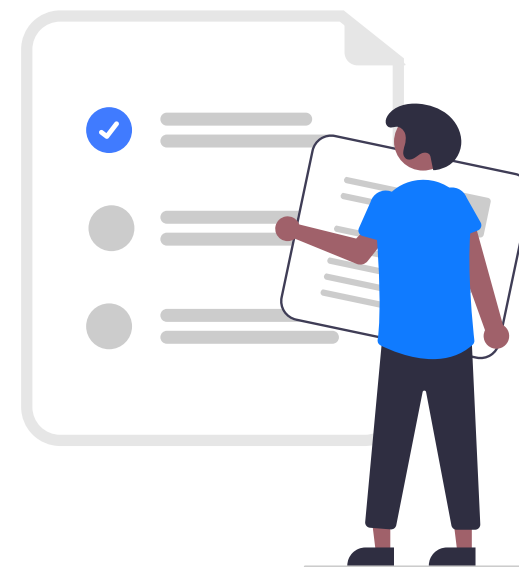
事故の速報を把握することで、渋滞が回避できるなど、無駄なく効率的に仕事を進められます。共有方法やまとめ方を統一して、全員に情報が届くようにしましょう。

安全に関する指導・教育の効率化



4. ヒヤリハット

従業員が日頃の業務で感じた、事故や損害の一步手前の出来事を共有し、ナレッジとして蓄積します。従業員がすぐに共有できる仕組みがおすすめです。



5. 理解度テスト

道路交通法は、2012年から2年に1回程度のペースで改正されています。内容周知だけでなく、理解しているかの確認まですることで、違反を防ぐことができます。



6. アルコールチェック

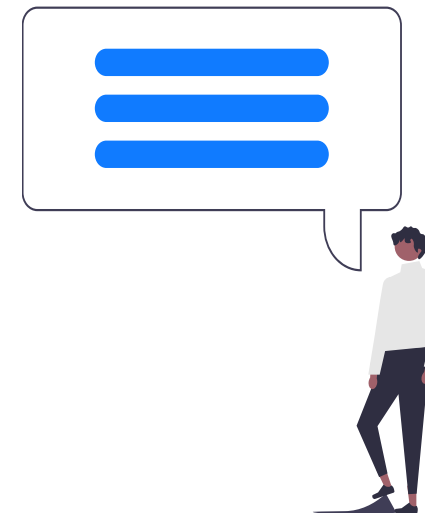
紙からデータに記録を移行すると、申請方法が統一化されて入力漏れを減らす効果や、提出や管理にかかる時間・手間を大幅に削減する効果が期待できます。

従業員の頑張りを評価・称賛する仕組み



7. 無事故表彰

減点方式の評価になりがちな物流・運送業界ですが、「無事故」は企業への貢献。貢献度の高い社員をしっかりと評価することで、会社への信頼につながります。



8. お客様の声

お客様から届く感謝の言葉を広く共有することで、従業員のやりがいにつながります。社内掲示板やメール、情報共有ツールで、しっかりと届けましょう。



9. ドライバーコンテスト

ドライバーの技術や知識を評価することで、ドライバーのモチベーション向上に繋がります。普段の働きぶりを知らない従業員にも、頑張りを見てもらえます。

取り組み事例2選

example 01



株式会社ダイセーセントレックス 様

物流業界ならではの コミュニケーションや離職率の課題を改善

ドライバーミーティングでは、、、

人手が足りない中で、ドライバーミーティングに参加できるドライバーは限られていた。紙の社内報でも情報発信をしていたが、一冊最後まで読み切るのが難しく、発信が不十分だと感じていた。

スマホでドライバーにも情報発信

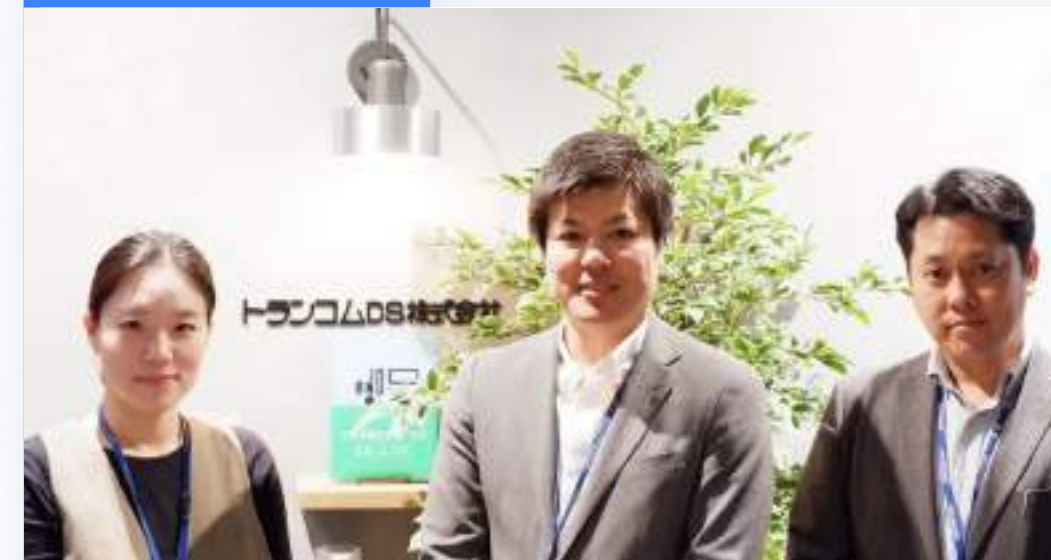
各部署での連絡、会社からのお知らせなどを発信。会社や他の人について知ったり、コミュニケーションのきっかけに。

離職率が、1年で約10%改善

同じ拠点でも時間帯が違って全く顔を合わせない従業員もいる中で、「なんとなく知っている、なんとなく仲間である」という認識ができてきた。



example 02



トランコムDS株式会社 様

運送業界の当たり前を変え、 『離職率10%未満』を実現

毎年3割ほどの従業員が毎年辞めてしまっていた

従業員の良い仕事ぶりが情報として上がってこず、評価が減点方式。上司から怒られることばかりで従業員がモチベーションを落としてしまう。

離職率が1割を下回るほど、離職者の数が目に見えて改善

不足していた人員が埋まり、さらに上乗せで人がいる状況に。人手不足の頃のように責任者に代わりに配送に出ることはなく、自らの職務に専念することができるようになった。

現場の声が経営まで届くようになった

「従業員のことを考えてくれている経営ですね」「やりがいを感じています」と感謝の言葉をもらう機会が増え、経営と現場の距離感がぐっと縮まった。



物流・運送業界の業務DXや組織改善なら「TUNAG」



TUNAGは、情報共有のDX化や従業員の頑張りの評価ができる各種機能が揃っています。

会社のメールアドレスや社用スマホがなくても、ドライバーの方に1人1アカウントを用意し、個人スマホで使ってもらえるので、私用SNSを使うことなく、会社公式のアプリ上で情報共有ができます。

物流業界の企業様は、ぜひお気軽にご相談ください。

■ サービス概要資料はこちら

<https://biz.tunag.jp/download/logistics-service-guide>



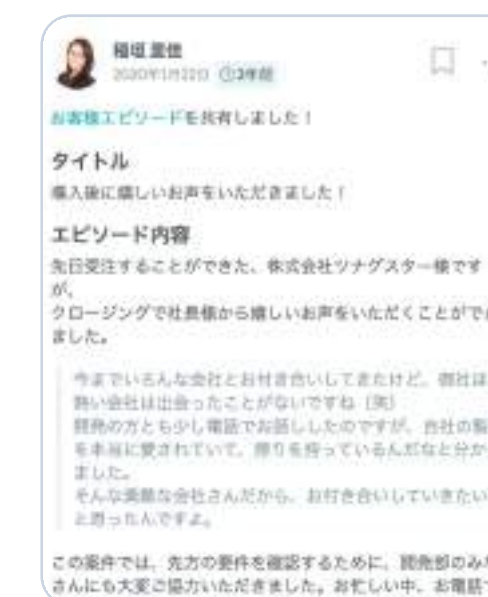
お知らせ



各種申請



理解度テスト



お客様の声



表彰

お問い合わせ

TUNAGの導入費用を確認いただける！

お見積請求



<https://biz.tunag.jp/form/quote>



[お見積書の請求はこちらから](https://biz.tunag.jp/form/quote)

人事業務に役立つ情報が満載！

各種資料請求



<https://biz.tunag.jp/download>



[無料ダウンロードはこちらから](https://biz.tunag.jp/download)

TUNAGの機能や使用感を体験できる！

無料デモ体験



<https://biz.tunag.jp/download/demonstration>



[無料デモ体験のお申し込みはこちら](https://biz.tunag.jp/download/demonstration)

会社概要



会社名	株式会社スタメン
所在地	東京本社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-2-1 KANDA SQUARE 11F 名古屋本社 〒450-0006 愛知県名古屋市中村区下広井町1-14-8
H P	コーポレートサイト： https://stmn.co.jp/ 「TUNAG」製品情報サイト： https://biz.tunag.jp/
設 立	2016年1月
代表者	大西 泰平
証券コード	東証グロース：4019

